

施策評価シート (令和4 年度の振り返り、総括)

作成日 令和5 年 04月 07日

施策 No.	3	施策名	国際化に対応した教育
主管課名	学校教育課	電話番号	0285-81-9052
関係課名	学校教育課、生涯学習課、保育課		

1. 計画 (Plan)

施策の対象	市内の義務教育課程の児童生徒						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
児童生徒数	人	6,638	6,562	6,476			

施策の目標	<p>社会環境が大きく変化しグローバル化が一層進展する中で、国際的な視野を持ち、豊かな語学力やコミュニケーション能力を身につけた児童生徒を育成します。 また、国籍や文化の違いに関わらず、互いに支え合い共に生きていく力を育みます。</p>
-------	--

成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> ・真岡市総合学力調査 (英語) の平均正答率における全国比との差を使用する。 ・全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた児童の割合を使用する。 ・とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた生徒の割合を使用する。
-----------------------------	--

成果指標名	単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
中2真岡市総合学力調査(英語)の平均正答率における全国比との差	目標値		-1.3	-0.3	+0.7	+1.7	+2.5	+2.5
	実績値	ポイント	-2.3	実施無	+3.6	+2.5		
小6全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた児童の割合	目標値	%	64.0	68.0	72.0	76.0	80	80%
	実績値		-(項目なし)	実施無	75.1	項目なし		
中2とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた生徒の割合	目標値	%	63.6	67.7	71.8	75.9	80	80%
	実績値		59.5	実施無	59.0	57.9		
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>市民は、国際的な視野を育成し、相互理解を深めるため、異文化交流の場等に積極的に参加する。 行政は、国際交流や英語教育の充実にに向けた環境整備や指導者の人材確保に努める。</p>
-------------------------	---

2. 実行 (Do) →個別事務事業の実施による (事務事業マネジメントシート参照)

3. 検証・評価と今後の方向性 (Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題 (①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

令和4年度真岡市総合学力調査の実績値によると、中学2年生(英語)の平均正答率における全国比との差: +2.5ポイントとなっており、これまでの英語の学力向上に関する取り組みの成果が見られる。

一方とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた中学2年生の割合は57.9%となっており、県平均の56.9%を上回っているものの、今後も英語への興味関心を高め、英語を用いたコミュニケーションを楽しむための取り組みに力を入れていく必要がある。

令和4年度の国際理解教育・英語教育に関する取組状況は以下のとおり。

- ・外国語活動支援員(JTE)および英語指導助手(AET)、英語指導力向上専門員を活用し、英語教育の充実を図った。
- ・保育施設等に在籍する3歳～5歳児を対象に、小学校から始まる英語教育に円滑に移行できるよう、AETの派遣や英語プログラム実施に要する費用の支援を行い、英語に触れあう環境を整えた。
- ・英語検定料・漢字検定料の助成について、漢字検定の助成対象をすべての級に拡大するとともに申請方法を郵送のみから窓口による受付も可とし、英語能力および日本語能力のさらなる育成を図った(英語検定料助成対象者:227名、漢字検定料助成対象者:83名)。
- ・教育国際交流については、中学校6校で姉妹校を締結済。新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航および受け入れはいずれも中止としたが、オンライン等を活用した交流を推進した。二宮地区3中学校(長沼・久下田・物部中学校)の姉妹校締結に向け、オーストラリアのハーヴェー・シニアハイスクールとの教職員同士のオンライン会議等を実施した。
- ・小学校5～6年生を対象としたイングリッシュ・サマーキャンプについては、新型コロナウイルス感染症対策のため引き続き日帰りで行った。
- ・高校生の海外留学支援については、令和4年度7名に対し助成を実施した。
- ・外国人児童生徒拠点校に設置されている日本語学級において日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対し、2人の日本語指導助手(ポルトガル語・スペイン語通訳)を配置した。
- ・学校から外国人保護者への多言語によるメール送信システム「E-Traノート」を4校に導入し、学校と外国人保護者との円滑な連絡を支援し、きめ細かな支援体制を整えた。
- ・外国人生徒と保護者向けの「多言語による進学ガイダンス」を6月に実施し、外国人生徒のスムーズな高校進学への支援体制を整えた。前年度よりも開催時期を早めたことで、高校進学に向けた準備を余裕を持って行えるよう支援した。
- ・日本語教室設置校8校に2台ずつ配置していた携帯通訳機について、ふるさと納税の寄付を活用して4台追加購入・配備した。これにより、児童生徒が普段在籍している学級担任教諭による活用や、日本語教室が設置されていない学校において、児童生徒の指導や保護者との面談の際の活用が可能となった。

(2) 今後の方向性 (1)の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

外国語活動支援員(JTE)および英語指導助手(AET)、英語指導力向上専門員の効果的な活用により言語活動を通して学ぶ英語指導を充実させ、英語力ならびにコミュニケーションの能力の向上を図る。そのことにより、児童生徒の英語への興味関心を高め、英語を用いたコミュニケーションを楽しむための素地を養う。

また、保育施設においてもAETの派遣や英語プログラムを効果的に活用することにより、幼少期から継続して児童の英語に対する興味関心を促していく。

教育国際交流については、ICTを活用したオンライン交流を継続し、姉妹校との関係性の維持向上を図る。また、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、海外派遣及び受入を伴う直接交流再開に向けた検討を行う。特に、友好都市との二宮地区3中学校の姉妹校締結に向けた具体的な取組を進めて行く。高校生の海外留学支援についても、引き続き実施する。

外国人保護者への多言語によるメール送信システム「E-Traノート」の積極的な活用を推進し、外国人児童生徒および保護者へのきめ細かな支援体制を整える。

